

メルギューちゃんとメルモモちゃん、海外で躍動。

7月7日～7月10日の4日間、フランス・パリでジャパンエキスポが開催されました。小矢部市のシンボルキャラクターのメルギューちゃんとメルモモちゃんも参加し、世界に向けて小矢部市の魅力をPRしてきました。



(写真：ジャパンエキスポでのステージ風景などの様子)



補正予算の概要	2	閉会中委員会開催状況	9
審議経過・人事案件	2	委員会行政視察報告等	10
議場改修のお知らせ	2	委員会報告	11
審議議案・議員別賛否状況	3	議長交際費・次回議会日程等	11
代表・一般質問等	4～8	会務報告・編集後記	12

一般会計補正予算・条例改正など

9議案を議決しました

6月10日から24日までの15日間を会期として6月定例会を開会しました。6月定例会では、市長から平成28年度小矢部市一般会計補正予算や条例の一部改正、固定資産評価員の選任同意や専決処分事項の承認についてなど議案7件、議員から議員提出議案2件が提案され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。その他、法令等に基づく報告事項が1件あったほか、議員派遣を可決しました。

◎ 6月補正予算の概要

議案第35号 平成28年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)
補正額 1,847.4万円 累計予算額 145億9,697.4万円

《主な事業》

- ・コミュニティづくり推進費 720万円
自治会等の備品等の整備に対して助成するもの
(自治総合センターの一般コミュニティ助成金を活用)
- ・観光推進費 460万円
メルギューくん・メルモモちゃんのジャパンエキスポへの参加費用
(映像産業振興機構の地域発コンテンツ等海外展開支援事業補助金を活用)
- ・小学校管理運営費 100万円
津沢小学校の備品の整備を行うもの(寄附金を活用)
- ・中学校管理運営費 100万円
津沢中学校の備品の整備を行うもの(寄附金を活用)

議案第36号 平成28年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 153.4万円 累計予算額 35億6,733.4万円

《主な内容》

国民健康保険の県域化に向けてシステム改修を行うもの(国補助金を活用)

6月定例会の審議経過

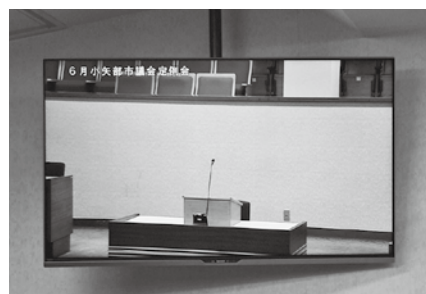
(会期15日間)

10日	本会議(提案理由説明) 全員協議会
13日	議案調査日
14日	議案調査日
15日	議案調査日
16日	議会運営委員会
17日	本会議(代表・一般質問)
20日	人口対策等特別委員会
21日	民生文教常任委員会
21日	駅周辺整備特別委員会
21日	産業建設常任委員会
22日	総務常任委員会
23日	委員長会議
23日	議会運営委員会
24日	全員協議会
	本会議(質疑・討論表決他)

人事案件

◎ 固定資産評価員の選任同意

栢元 剛氏(道坪野)



新しく設置した大型モニター



議場に大型モニターを設置したことにより、傍聴席からも発言者の表情がよく見え、会議をより分かりやすく傍聴することができそうです。皆さんも議場に足を運んで本会議を傍聴してみませんか。

議場に大型モニターを設置しました

6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第35号	平成28年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	平成28年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定改廃	議案第37号	公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用自動車の使用、ポスターの作成及びビラの作成の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことから、関係条例においても同様の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	その他	議案第38号	字の区域の変更及び廃止について 団体営土地改良総合整備事業の換地完了に伴い、字の区域の変更及び廃止を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決承認	承認第1号	小矢部市税条例等の一部改正について(3月31日専決) ・平成28年度税制改正に伴い、固定資産税・市たばこ税について、所要の改正を行ったもの。 (平成28年4月1日付け施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第2号	小矢部市国民健康保険税条例等の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法等の改正に伴い、国民健康保険税の軽減措置(5割軽減・2割軽減)に係る所得判定基準等について、所要の改正を行ったもの。 (平成28年4月1日付け施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	同意第2号	小矢部市固定資産評価員の選任について (人事案件の概要は2ページを参照ください)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第4号	国民の安心・安全の確保に関する意見書 (意見書の内容は8ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第5号	新高岡駅への「かがやき」定期便化に関する決議 (決議の内容は8ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません

6月定例会で報告された事項

報告	報告第1号	平成27年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告
----	-------	-------------------------



会派「誠流」
なかだ まさき
中田 正樹
議員

◎ニッポン一億総活躍プランについて（地方創生の実現に向けて）

◎ニッポン一億総活躍プランについて（地方創生の実現に向けて）

質問 ニッポン一億総活躍プラン「まち・ひと・しごと創生基本方針2016」が地方に与える影響、本市に活かせる制度・政策について市長の考えを伺う。また、消費税の増税延期により、社会保障関連予算の削減や、国の施策等の財源不足など、地方自治体として懸念されることはないか。市長の認識を伺う。

市長 これらのプランや基本方針に示された意義や方向性を踏まえ、地方への支援策等を積極的に活用し、「小矢部市人口ビジョン」に掲げた目標人口の実現に向けて、「おやべルネサンス総合戦略」の着実な推進に努めたいと考えている。また、消費税増税の先送りの影響については、予定されていた医療や介護、年金、子育てなどの新たな充実策の財源が見込めなくなり、また、地方自治体の歳入面においても財源不足が懸念されているところである。これらに関し、

◎小矢部市の観光GDPについて

◎小矢部市の観光GDPについて

質問 交流人口の増加により、小矢部市の地理に疎い方が、携帯電話を使用して、火災の通報や救急搬送依頼をするケースが増えると思われる。携帯電話利用者の位置情報を取得し、救助機関へ提供する取り組みが開始されているが、消防と携帯電話各社との緊急通報への体制は万全か。また、消防広域化から5年が経過したが、現状の認識や課題等について、市長の見解を伺う。

市長 一定の要件を満たすものについて、位置情報が提供されることとなっている。通常の急病などへの緊急出動の際に利用する機会はほとんどないが、行方不明者の捜索などには有効であると考えている。また、消防広域化については、拠点整備が昨年度末に完了し、これまで以上に各署所が連携し、初動体制強化に繋がるものと考えている。

◎県立高校の再編・統合について

◎県立高校の再編・統合について

質問 本市の全産業に占める観光産業の割合はどのくらいか。また、国が観光地域経済調査を行っているが、本市の観光産業・事業への投資額や、経済波及効果額はいくらか。また、本市には、魅力的な観光資源である石動の曳山があり、全ての花山歌舞伎屋台、舞踊屋台の現状を把握し、未来に引き継ぐための体制を整備する必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

市長 観光産業の割合に関する調査は実施していない。また、観光が地域の経済や産業に及ぼす影響については、アンケート調査等を通して把握・分析し観光PR活動に繋げている。併せて、国が実施している調査を通して、費用対効果の高い観光施策を展開していきたい。また、曳山と歌舞伎山については、保護のための補助制度を設けているが、屋台については、今後、屋台を保有する町内の意見等を踏まえ、補助対象として追加する等の検討をしたい。

市長 生徒の急激な減少に対応するために、今後、県立高校の再編・統合が検討課題となってくる。小矢部市の魅力を高めるためにも、現状のまま3校が存続されることが大切であり、市が先頭に立って各学校の魅力づくりに携わっていくべきと考える。現状の認識や今後の取り組みについて、市長の見解を伺う。

- ◎熊本地震から学ぶ防災・減災対策
- ◎新図書館の活用について
- ◎三井アウトレットパーク北陸小矢部の発表を受けての検証



白井 中 議員

質問 熊本地震の発生を受け、本庁舎の耐震化を早める考えはないか。具体的な道筋、方向性をどのように考えているのか。当局の考えを伺う。

総務部長 現庁舎の耐震改修、現地での改築、新たな場所での新築という3案い

ずれも多額の経費を必要とするうえ、国や県などの助成がないこともあり、整備財源をどのように確保するかということが大きな課題である。当面は、本庁舎が全半壊した際の代替庁舎を、総合保健福祉センターあるいは津沢コミュニティプラザで想定し、事業継続計画を早急に策定していきたい。
質問 石動駅と併用して新築することになっている新図書館について、駅前地区の活性化にどのように繋がっていくのか。当局の考えを伺う。

教育長 駅利用者への配慮や、「電車が見える図書館」としてPRを行うなどの方法により、市内外の利用者増加を図る。加えて、駅舎

1階の観光案内所との連携により、本市の歴史、観光などの情報発信機能が強化され、アウトレットモールを訪れた方々をまちなかに誘導し、駅周辺の賑わいを創出することを期待している。

質問 アウトレットモールが開業してから8カ月半で年間来場者予想の350万人を大きく上回り、売上高は年間見込みの170億円に迫っているとの発表があったが、本市への経済効果や税収への影響はどの程度見込んでいるか。

企画政策部長 市内飲食店へのヒアリング調査の結果、中心市街地への誘客に徐々に効果があらわれていると認識している。また、クロスランドタワーや道の駅についても、来場者が増えているという報告を受けている。税収も、アウトレット関連で約1億4千万円程度の増収を見込み、確実に本市にとって潤いが生まれていると認識している。



嶋田 幸恵 議員

- ◎災害弱者支援体制について
- ◎防災士連絡協議会の運営について
- ◎指定管理者制度導入施設への管理運営について
- ◎観光誘客事業について
- ◎福祉業務に携わる専門的研修について

質問 8月27日に行われる防災訓練で、障害のある方の訓練の実施を検討して欲しい。

総務部理事 現在、障害のある方の訓練が盛り込めるよう調整を行っている。実際に障害のある方に訓練に参加していただき、避難訓練等をするのを想定している。

質問 女性防災士が余りに少なく感じる。女性防災士を育成するために、女性枠を設けていただきたい。

総務部理事 平成27年度までに新たに男性37名、女性2名が防災士となり、女性は極端に少ない状況である。女性への配慮のため複数の女性防災士を育成し、女性の意見を取り入れる必要がある。各地区防災会に要請するとともに、女性枠を設けるよう検討したい。

質問 クロスランドおやべの指定管理料や業務のチェック、行政指導をどのように行っているか。

教育委員会事務局長 年4回、指定管理者から提出される事業

実績報告書に基づき、モニタリングを実施し、改善の指示を行っている。今後とも最少の費用で最大の効果が得られるよう指導を行っている。

質問 アウトレットモールが開業し、地域活性化への取り組み正念場を迎えている。今後の具体的な事業展開について、当局の考えを伺う。

企画政策部長 石動駅周辺整備事業の推進と、商工会が取り組む駅前の空きビル改修支援により、中心市街地の魅力向上を図りたい。

質問 保健師について、どのように研修を行っているのか。

民生部長 職場内の日常的な訓練に加え、県内外で開催される、生活支援コーディネーター養成研修、認知症地域支援推進員養成研修など専門研修へ計画的に派遣している。研修受講者だけでなく、携わる職員全てが情報共有できるように努めている。

- ◎市庁舎の耐震対策について
- ◎公共施設の在り方について
- ◎小矢部東IC周辺開発について
- ◎メルバス利用促進について
- ◎「ホッケーのまち小矢部」の未来像について



山室 秀隆 議員

質問 本庁舎で災害が起きた場合には、小矢部市防災センターが災害復旧の拠点となるそうだが、罹災証明書交付に支障はないか。

総務部長 防災センターに保管されているデータを活用し、別途、サーバーや端末等を調達すれば、本庁舎と同様の業務を行うことは可能であると考えている。

質問 公共施設の利用料金の改正是考えているか。

総務部長 公共施設の利用料金は長年据え置いてきたものが多く、施設の役割や老朽化などを考慮した適正な見直しが必要であると認識している。今後、調査等のうえ、検討したい。

質問 昨年、能越道が七尾まで完成し、アウトレット効果もあり交通量も増大した。小矢部東IC周辺に工業団地を整備する考えはないか。

企画政策部長 小矢部東IC周辺は農業振興地域であり、工業団地を整備する場合、企業の進出の意思が明確であることや、住民の同意が得

られていることなどの諸条件を整える必要がある。企業と住民の合意があれば支援したい。

質問 メルバス全線路線図では理解しにくいという声も聞く。分かりやすい路線毎の路線図は作成できないものか。

民生部長 現在、全世帯に配布している路線図は略図であるため、自由乗降区間などが分かりにくいものとなっている。今後、地図を使った路線図の作成について検討したい。

質問 オリンピック練習会場となるため、小矢部ホッケー場に不足している施設や設備は何か。また、誘致に向けてどのような活動をしているか。

教育委員会事務局長 ウェイトトレーニング施設、理学療法施設、マルチメディア機器を備えた会議室が不足している。県が作成するスポーツ大会合宿施設一覧への掲載などのPR活動により、誘致に向け引き続き取り組みたい。

- ◎人口対策の取り組みについて
- ◎保育所の統廃合について
- ◎防災の中の水害対策について
- ◎小矢部市土地開発公社の経営状況について



加藤 幸雄 議員

質問 自然動態の改善は、今後の人口対策を進める上で非常に重要と考えるが、本市において、出生率や婚姻率の改善をどのように行うのか。当局の考えを伺う。

副市長 結婚して子どもを産みたいと思えるような社会とするために、保育サービスの充実や、中学生までの医療費の無料化などの子育て支援に継続的に取り組むとともに、県内関係機関と連携しながら、婚活支援に努めたい。

質問 保育所統廃合について、現在、どのように話が進んでいるのか。

民生部理事 統廃合の対象となる松沢、正得、荒川、若林、北蟹谷、東蟹谷、藪波保育所の保護者及び地元地区に説明を行ったところである。保護者からは、速やかに新たな保育所を完成させて欲しいなど、建設的な意見を多くいただいた。今後、タウンミーティングにおいて、詳細を説明し、関係者等と調整を図り、年内を目途に事業化の是非につ

いて判断したい。

質問 近年頻発するゲリラ豪雨に対する備えが必要だが、本市における水害想定とその対策について伺う。

総務部理事 大雨により小矢部川など6つの河川が増水し、堤防が決壊した場合の浸水範囲等の予測結果と避難に関する情報が掲載された「洪水ハザードマップ」を作成し、市民に配布している。災害が予測される際は、市民自らが、いち早く避難場所へ移動できるように配慮している。

質問 小矢部市土地開発公社の経営状況や、リスク管理の体制について伺う。

総務部長 先日、平成27年度の経営状況について本議会に提出したところであるが、借入金の返済が不能となるなど、経営が行き詰まることはない。毎年度、市監査委員による監査も実施されており、厳しく管理されている。今後とも十分なリスク管理により、適切で健全な経営に努めたい。

- ◎アベノミクスによる経済効果は格差拡大のみで、市民の暮らしはよくなっていないのではないか
- ◎学童保育の充実について
- ◎市内猿ヶ馬場等のブナ林の手入れ、保存と市内資源として活かすことについて
- ◎子どものインフルエンザ予防接種について
- ◎個人住宅の耐震化促進について



砂田 喜昭 議員

質問 アベノミクスによる経済効果は、格差拡大ばかりで市民の暮らしはよくなっていない。農業ではどうなっているか。後継者は育つか。

産業建設部長 県全体の米生産額は平成24年と28年の比較では492億円から377億円に減少。後継者問題は、一朝一夕で解決できる問題ではないが、関係者が問題意識を持ち、継続して解決に向けて取り組む。

質問 勤務先が遠方の方のために、放課後児童クラブの時間延長をしてもらいたい。

民生部理事 毎年、放課後児童クラブの利用者募集を行う前に、ニーズ調査を実施している。今年度については、希望者がいなかったため、延長を行っていない。今後も引き続きニーズの把握に努め、時間延長について検討したい。

質問 氷河期の生き残りかと言われるブナ林が低山地の俱利伽羅・猿ヶ馬場にある。この保存と資源活用を

求めたい。

教育長 非常に貴重であることから、市指定文化財に指定しており、専門家の協力も得ながら、継続的に対策をとっていききたい。また、広報等により、文化財保護意識の高揚に努めたい。

質問 子どものインフルエンザ予防接種への助成制度を、流行前に実現してほしい。

民生部理事 子育て支援事業の施策の一環として、今後の国の動向や、他市町村の助成状況を勘案し、検討したい。

質問 住宅耐震化が必要な戸数は約三五〇〇戸。この促進化のために、部分耐震化、耐震シェルター等を下水道工事等と併用してすすめてはどうか。相談窓口も必要でないか。

産業建設部理事 小矢部地域住宅相談所の無料相談窓口等を利用していただきたい。なお、現在この助成制度についてまとめたリーフレットを作成中であり、今後、市民に向けて広報する予定である。

一般質問

- ◎小矢部市商業まちづくりプランについて
- ◎小矢部市のブランド戦略化について
- ◎スポーツ施設について



藤本 雅明 議員

質問 アウトレットモール来場者を市内の商店街等に呼び込むためには小矢部市全体で一体感を持って取り組むことが重要だと考えるが、今後の進め方について見解を問う。

企画政策部長 市内商業者の有志がふれあいマーケットを開催したほか、市民の有志が朝市の開催を計画している。このように「小矢部市商業まちづくりプラン」は着実に市民に浸透し、一体感が生まれつつある。引き続き、商工会と連携しながら、まちなか商店街のにぎわい創出や市内商業の振興に取り組む意欲ある民間事業者を支援してゆきたい。

質問 小矢部市のブランド戦力化についてどのような取り組みをされているのか。

企画政策部長 今年度小矢部市のイメージソングを制作している。その歌詞の基となる歌詞フレーズを募集したところ小中学生中心に79点の応募があった本市の魅力な場所、史跡、伝統行事、特徴などが書かれていて本

市の魅力を再認識していただけたものと考えている。

質問 今後どのようにブランド戦略化をすすめるのか。

企画政策部長 今年度から新たに、小矢部市地方創生アドバイザーの方から専門的な意見をいただきブランド化の事業に取り組んでいきたい。

質問 市民体育館の耐震改修工事に併せて、シャワールーム等を改修し、市民の利便性を向上させるべきと考えますが、当局の考えを問う。

教育委員会事務局長 今回の改修においては、耐震補強工事等と併せて、特に老朽化が著しく、要望の強かったトイレの全面改修を計画している。

質問 シャワールーム等については、補助金等の特定財源の確保が見込めないため、今回の改修からは見送ることだがこれでは市民の理解は得られない。市長の見解を問う。

市長 今一度現状を確認し、検討させてほしい。

◎小矢部市の防犯まちづくりについて
◎不法投棄ゼロのまちづくりについて

なかのるみこ
中野留美子
議員



質問 市民の安心・安全を守るためには、犯罪が起りにくい、起こさせないまちづくりが必要であると考える。市民が犯罪に巻き込まれないよう、犯罪を未然に防止するための取り組みをどのように行っていくのか。

民生部長 現在は、警察署や各防犯ボランティア団体と連携した広報啓発活動を広報することにより、市民の防犯意識の高揚に努めている。今後は、防犯に無関心な方が被害者にならないための対策として、ひとり暮らしの高齢者を訪問する際に注意喚起を促したり、市役所の窓口で防犯チラシを配布したりするなど、あらゆる機会を通じて情報提供を行い、官民一体となった防犯活動を展開していきたい。

質問 交流人口が大幅に増えているこの時期に、不法投棄ゼロ、不法投棄をさせない小矢部市のイメージをつくるのが大切だと思うが、現在、市内で行って

る不法投棄対策の状況について伺う。

民生部長 市内18地区に不法投棄監視員を1名ずつ委嘱し、監視パトロールを行っている。また、今年度、不法投棄防止啓発看板を追加発注し、要望のある地区や不法投棄が多い地区に対して、看板を交付し、不法投棄防止の啓発強化を行う予定としている。

質問 不法投棄監視員に頼るばかりでは個人への負担が大きく、継続性の面から考えて問題があるのではないかと。監視カメラの設置台数を増やすなどの対策を講じる必要があると考えるが、当局の見解を伺う。

民生部長 富山県から監視カメラの貸し出しを受ける可能性はある。また、富山県では、今年度から監視カメラを購入する際の補助制度が新設される予定と聞いている。平成29年度に向けて、これらを視野に入れ、監視カメラの活用を検討していきたい。

意見書（議員提出）

地方自治法第99条の規定に基づき、政府に対して意見書を提出しました。

国民の安心・安全の確保に関する意見書

日本を取り巻く周辺国による核開発、ミサイルの発射や、領空・領海侵犯などに対し、日本国民は大きな不安を感じている。また、現状の変更を試みようとする動きに対しても大きな懸念を抱いている。

国民の生命・財産を守ることは、政府に課せられた重要な使命であり、安心・安全を脅かす行為に対して政府は、厳格な対応をしていく責任がある。

よって、国民が安心して日常生活を送れるよう、政府としてこれらの諸問題に対し、外交等を通じて日本国民の意思を示すとともに、毅然とした対応をとるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月24日
小矢部市議会議長 石田義弘

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
国土交通大臣
防衛大臣
内閣官房長官

決議（議員提出）

地方自治法第112条及び会議規則第14条の規定により提出し決議しました。

新高岡駅への「かがやき」の停車に関する決議

去る平成27年12月18日に、JRから平成28年春のダイヤが発表されたが、新高岡駅への「かがやき」の定期便化は見送られた。これまで市議会のみならず官民を挙げて新高岡駅への「かがやき」の定期便化に向けた取り組みを積極的に進めてきたが、現在も臨時便の「かがやき」が1日1往復するのみにとどまっている。

新高岡駅への「かがやき」の定期便化をJRに要請するためには、乗降客数の増加は必要不可欠である。現在、新高岡駅の乗降客数の増加に努めているところであるが、乗降客数のさらなる増加に向けた具体的な利用促進策をこれまで以上に全力を挙げて取り組まなければならない。

新高岡駅への「かがやき」の定期便化は、県西部のみならず、飛越能地域全体の経済・産業・流通の振興・発展に大きく寄与するものと確信している。

よって、本市議会は、新高岡駅への「かがやき」の定期便化に向けた運動を、市民をはじめ関係自治体や経済界と一体となり強力に推進するとともに、JRに対して、新高岡駅への「かがやき」の定期便化の実現を強く要望する。

また、国会及び政府に対しては、その支援を強く求め、議会として、その取り組みに全力を尽くすことを決意するものである。

以上、決議する。

平成28年6月24日

小矢部市議会

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

5月20日に所管事項調査として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎小矢部市プレミアム商品券発行事業の平成27年度事業実績及び平成28年度事業計画について

平成27年度事業実績と、平成28年度の商品券発行金額等について報告がありました。

◎平成29年度に採用する小矢部市職員募集について

平成29年度に採用する職員の職種や採用予定人数、受付期間等について報告がありました。

◎民間企業との防災時協力協定について

市と協定締結した企業・団体と主な協定内容について報告がありました。
◎小矢部市防災士連絡協議会について
5月18日に、防災士連絡協議会が設立されたことと、活動内容等について報告がありました。

*所管事項について、委員から次の意見がありました。

・相互応援協定を締結した民間等とは、防災訓練で協力してもらえない仕組みが必要ではないか。

産業建設常任委員会

5月27日に所管事項調査として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から次の意見がありました。

・有害鳥獣対策について、昨年と比べて、対策方法等に変更があるが、対策に携わる方への配慮を行いながら、対策の推進をして欲しい。

・夏場にかけて、イノシシの捕獲数が多くなると思われるが、夏場に捕獲されたイノシシは食肉には適さないため、埋設処理を行うことになると思うが、その埋設処理に対する支援策の検討が必要ではないか。

・冬場に捕獲されたイノシシの食肉化について、国のガイドラインや、石川県で行われている取り組みを参考に、本市に適した取り組みを食肉処理施設の建設等も含めて検討を行うて欲しい。

・本市における鳥獣対策用の防護柵の補助対象は、電気柵のみに限定しているが、金属製のメッシュ網も対象に含め、土地の形状等に応じたきめ細かい対策ができるように、工夫をする必要があるのではないか。

民生文教常任委員会

5月10日に所管事項調査として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎市立保育所の定員の変更について

年間平均入所児童数が定員の80%未満であった、埴生・北蟹谷・若林保育所の定員の見直しを行い、小矢部市保育所規則を改正し定員を変更したとの報告がありました。

◎新図書館整備事業に係る中間報告について
新図書館整備事業に係る中間報告がありました。

*所管事項について、委員から次の意見がありました。

・県では、地域包括ケア活動実践団体を募集している。市としても、この事業をしつかり広報し、団体登録してもらえよう支援していく必要があるのではないか。

・小矢部陸上競技場の一般開放において、「トラック部分をサッカー等のスパイクで踏まない」などの利用上の注意を、利用者に広く周知すべきではないか。

駅周辺整備特別委員会

4月18日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎石動駅周辺整備実施設計の中間報告（基本設計見直し案）について

駅施設と図書館の各基本設計について、3月の委員会において委員から指摘があった事項について見直しを行ったとの報告がありました。

人口対策等特別委員会

4月26日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎平成27年度人口動態について

27年度の人口動態（社会動態・自然動態）について、転入と出生は、前年度より増えているとの報告がありました。

◎おやべルネサンス総合戦略事業に係る平成27年度事業実績等について

総合戦略事業において、27年度に新規として実施した事業内容等の報告がありました。

行政視察報告

総務常任委員会

【日程】
5月17日
～19日

【視察先】

埼玉県三芳町
千葉県習志野市
栃木県宇都宮市

●魅力ある広報紙について

埼玉県三芳町は、広報改革として、住民目線で読んでもらう工夫を行っていました。クロスメディア（ARやQR）を使用することで若者を意識した紙面づくりを行い、広報づくりを地域づくりと捉えて取り組んでいました。

●公共施設再生計画について

千葉県習志野市では、これからの時代にあった活用・維持を考えるために公共施設の再生に取り組んでいました。また、施設再生事業では、周辺のまちづくりと連携して地域の価値を高めるエリアづくりに取り組んでいました。

●全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業について／宇都宮ブランド戦略について

栃木県宇都宮市では、「日本一」として全国に誇れる施策・事業を推進することで、「住み続けたい」都市の実現を目指していました。また、宇都宮のよさを市民と一緒に発信する宇都宮ブランド戦略を進め、画期的なスタイルであるダブルレイス（2地域生活）にも取り組んでいました。



産業建設常任委員会

【日程】
5月10日
～12日

【視察先】

佐賀県鳥栖市
長崎県対馬市
長崎県対馬市商工会

●企業誘致対策について

佐賀県鳥栖市は、昭和29年の市政施行時より、工場誘致条例を制定し、一貫して企業誘致に取り組んだ結果、合計220ha以上の企業団地を有する都市に成長しました。高速道路や鉄道が交差する交通の要衝であるため、流通企業の進出が多く、現在も県と連携して積極的に企業誘致を行っていました。



●観光行政について／有害鳥獣対策について

長崎県対馬市は、韓国との距離が近く、渡航費用も安くなったため、近年、韓国人観光客が急増し、その対応のため、各種支援策を講じていました。また、イノシシやシカなどの有害鳥獣対策として、イノシシの食肉等への加工に取り組むとともに、地元住民と連携して捕獲体制を構築していました。

●外国人観光客に対する取組状況について

長崎県対馬市商工会では、韓国人観光客が対馬でのショッピングを十分に楽しめるように、韓国語支援サポーターを設置したりするなどの支援策を講じていました。

民生文教常任委員会

【日程】
5月18日
～20日

【視察先】

愛知県一宮市・大府市
埼玉県三郷市・八潮市

●一宮市立図書館運営について

愛知県一宮市の市立中央図書館は、尾張一宮駅前ビルに移設後、利用者か旧図書館に比べ約3倍になったとともに、中心市街地の活性化が図られていました。

●おおぶ文化交流施設の杜電子図書館運営について

愛知県大府市のおおぶ文化交流の杜図書館では、電子書籍の貸出をしており、24時間365日、本の貸出が可能でした。

●子育て支援事業について

埼玉県三郷市では、三郷中央駅前に子育て支援センターと民間保育園が併設されており、その民間保育園に市は送迎保育を委託し、市内の保育園に子どもたちを送迎していました。

●小中一貫校（施設分離型）について

埼玉県八潮市では、不登校児童や非行問題行動が多く、また基礎学力の定着が不十分であったことから、平成18年度より小中一貫教育をスタートさせ、結果、導入背景にあった3つの教育課題が解決されてきました。



市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成28年3月25日～6月9日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
28. 5. 10	徳島県阿南市議会 (会派)	4	-	・おやべ型1%まちづくり事業について

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、熊本地震の際、自主防災組織が機能しなかったと聞いている。想定外の災害発生時でも、小矢部市の自主防災組織が機能するように、防災訓練等を通じて、災害対応への適切な指導を行い、活動の促進に努めること。

また、「自主防災マップ」を作成することで、災害時の注意事項が再確認でき、自主防災への意識向上にも繋がるため、自主防災組織でのマップ作成について、積極的に働きかけること。
「小矢部市防災ハンドブック」は、全戸配布するだけでなく、出前講座やケーブルテレビを通じて、内容を市民に周知し、防災意識の向上に繋げること。

二点目は、今回のように市税条例等の改正が行われる場合、改正前後の数値等の比較だけでなく、再生可能エネルギー等に関して改正した背景も含めて、広く市民に周知すること。

三点目は、職員の健康管理について、ワーク・ライフ・バランスに取組むとともに、事務量の平準化を行い、職場の環境整備に努めること。

産業建設常任委員会

一点目は、ジャパンエキスポ・パリ出展事業について、小矢部市のシンボルキャラクターのメルギューくん・メルモちゃん、フランス・パリに招待され小矢部市のPR活動を行うこととしているが、この事業をより効果的なものにするためには、現地での活動を十分に行うことに加え、帰国後の活動展開が重要となることから、今後の展望を見据えた活動内容となるよう十分検討し、事業を推進すること。

二点目は、俱利伽羅トンネル整備事業について、今年度事業採択され、今後、測量調査が行われると聞いている。現在のトンネルは、幅員が狭く、歩行者や自転車が安全に通行するための空間が確保されておらず、また、老朽化に対する懸念もある。道路利用者の安全・安心を確保するとともに、災害時の緊急通行や物流を確保する路線として重要な役割を果たすものであることから、早急に整備できるように、引き続き、関係機関や地元住民と連携をとりながら、整備促進に向けて尽力すること。

民生文教常任委員会

一点目は、今年度より市の指定避難所でもある市民体育館の耐震補強工事

に着手することとなりますが、市民体育館として、使いやすく、障害者にも優しい施設となるよう、市民のニーズをしっかりと把握すること。また、耐震化と併せて、老朽化への対応、体育施設としての機能充実につながる工事を実施すること。

二点目は、現在、市指定有形民俗文化財に指定されている石動の曳山と歌舞伎山の維持管理には多額の費用を要します。各山町の負担も年々大きくなってきております。

つきましては、曳山や歌舞伎山の現在の状況調査を実施すること。また、各山車の保存・伝承のために、予算措置を含めて、適切な対応、支援を実行していくこと。

平成28年度 議長交際費支出状況

平成28年4月～平成28年5月 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	8	51,080
① 御祝・寸志	4	26,840
② 激励金		
③ 香典・供物	4	24,240
2 協賛費		
3 会費・懇談会費	3	12,240
4 その他	1	2,368
合計	10	65,688
平成28年度予算額		1,400,000
執行率		4.69%

※小矢部市議会のホームページからもご覧いただけます。

9月定例会の日程(予定)

- 5日(月) 10時 本会議
- 7日(水) 10時 本会議(提案理由説明)
全員協議会
- 8日(木) 議案調査日
- 9日(金) 議案調査日
- 12日(月) 議案調査日
- 13日(火) 9時 議会運営委員会
10時 本会議(代表・一般質問)
- 14日(水) 10時 本会議(一般質問)
- 15日(木) 10時 民生文教常任委員会
14時 駅周辺整備特別委員会
- 16日(金) 10時 産業建設常任委員会
14時 人口対策等特別委員会
- 20日(火) 10時 総務常任委員会
14時 決算特別委員会
- 21日(水) 14時 委員長会議
- 23日(金) 10時 議会運営委員会
13時 全員協議会
15時 本会議(質疑・討論・表決)

※緑色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
(当日午後7時とその週の午後6時から再放送予定)
録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。

会務報告

平成28年3月25日から6月9日まで

年月日	件名	摘要	開催地
28. 4. 12 ~14	議会運営委員会行政視察	・防災について・議会改革について ・民間事業者による空き公共施設の有効活用について ・弘前型スマートシティ構想推進事業について	秋田県北秋田市 秋田県大館市 青森県弘前市
4. 18	駅周辺整備特別委員会	・石動駅周辺整備実施設計の中間報告（基本設計見直し案）について説明	第二委員会室
4. 19	民生文教常任委員会	・石動駅周辺整備実施設計の中間報告（基本設計見直し案）について説明	第二委員会室
4. 25	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・「演芸会 おやべ五百円亭」の実施について他8件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・第181号発刊について	第二委員会室
4. 26	人口対策等特別委員会	・平成27年度人口動態について他1件報告	第二委員会室
	小矢部市・津幡町合同提言活動	・一般国道8号整備促進について	金沢市、富山市
	富山県西部市議会議長会総会	議題 ・平成27年度事業報告及び収支決算 ・平成28年度事業計画及び予算	高岡市
4. 27 ~28	北信越市議会議長会定期総会	議題 ・平成27年度会務報告及び歳入歳出決算報告 ・平成28年度予算 ・全国市議会議長会への提出議案等	長野県松本市
5. 9 ~10	小矢部市・津幡町合同提言活動	・一般国道8号整備促進について	東京都 新潟市
5. 10	民生文教常任委員会	・市立保育所の定員の変更について他1件報告	第二委員会室
5. 10 ~12	産業建設常任委員会行政視察	・企業誘致対策について ・有害鳥獣対策について・観光行政について ・外国人観光客に対する取組状況について	佐賀県鳥栖市 長崎県対馬市
5. 17 ~19	総務常任委員会行政視察	・魅力ある広報紙について ・公共施設再生計画について ・全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業について他	埼玉県三芳町 千葉県習志野市 栃木県宇都宮市
5. 18 ~20	民生文教常任委員会行政視察	・一宮市立図書館運営について ・おおぶ文化交流施設の杜電子図書館運営について ・子育て支援事業について ・小中一貫校（施設分離型）について	愛知県一宮市 愛知県大府市 埼玉県三郷市 埼玉県八潮市
5. 20	総務常任委員会	・小矢部市プレミアム商品券発行事業の平成27年度事業実績及び平成28年度事業計画について他3件報告	第二委員会室
5. 21	北陸新幹線新高岡駅「かがやき」停車実現期成同盟会総会	議題 ・活動報告、新高岡駅の現状及び今後の活動報告について	高岡市
5. 24	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・(仮称)「とやま呉西圏域」都市圏ビジョンの中間報告等について他4件報告	第一委員会室
5. 27	砺波地域消防組合議会臨時会	議事 ・財産の取得について 他1件報告	砺波市
5. 30	富山県選出国會議員と富山県市議会議長会との懇談会	・各市からの要望事項の要旨説明	東京都
5. 30 ~31	高岡地区広域圏事務組合議会行政視察	・いばらぎ出会いサポートセンター ・さいたま市桜環境センター	茨城県水戸市 埼玉県さいたま市
5. 31	第92回全国市議会議長会定期総会	議題 ・平成27年度会務報告及び平成26年度決算報告 ・平成28年度予算 ・部会提出議案25件、会長提出議案4件等	東京都

編集後記

東洋経済新報社が、全国813都市を対象に、毎年調査・公表を行っている「住みよさランキング」の今年の結果が発表されました。

本市は、昨年の188位から大きく順位を上げ、28位となりました。

市民の皆さんは、本市の住みよさを実感していらっしゃるでしょうか。

市民の皆さんに、本市の住みよさを実感していただき、「住みたい」「住み続けたい」と思われるためには、何が必要なのか、何を行わなければならないのか、常に皆さんの声に真摯に耳を傾け、有効な施策を講じなくてはなりません。

市議会としては、今後とも市当局と議論を重ね、魅力的で住みよいまちづくりを展開して参りたいと考えておりますので、市民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いたします。

次回の「議会だより」は、平成28年11月の予定です。
(議会だより編集委員一同)